

まちづくりの目標	6. 持続可能な行政運営を進めるまち	主担当課	秘書企画課・財政経営課
小分野	6 1 1 行政経営	関係課	営繕課

1. 第5次総合計画後期基本計画の成果と課題

	小分野	現状と課題	4年後のまち	指標	4年後のまちに向けて 実現できた主な成果	4年後のまちに向けて 残した主な課題																									
第5次生駒市総合計画後期基本計画	141 行政経営	<p>市民ニーズが多様化・複雑化する一方で、地方分権の進展に伴い、自己責任・自己決定のもと、自主性と自立性をより高めた行政運営を行う必要があります。また、厳しい財政状況のもと、限りある行政資源を有効かつ効率的に活用し、効果的な行政経営を行うことが求められています。</p> <p>本市では、ワークショップの開催、ききみみポストの設置やパブリックコメントの実施などにより、市民の意見・要望を把握し、反映させる仕組みの確立を図っています。総合計画の進行管理を行うための審議会においても、市民委員に参加してもらい、施策の達成状況や今後の方向性について意見を反映しています。</p> <p>公共調達においては、事後審査型一般競争入札制度を始め、総合評価落札方式や電子入札制度を導入し、公正・公平な契約制度の確立を図っています。</p>	<p>今後も各部署において、まちづくりの主体である市民の意見を反映させながら、計画や事業の進行管理を適切・明確に行うとともに、進行管理の検証結果や市民満足度調査を踏まえ、充実が望まれる分野について施策の重点化を図るなどの対応も必要になります。</p>	<p>① 市民ニーズに基づく行政運営が行われ、市政に対する市民の満足度が高まっている。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>H29</td> <td>H29</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>56.0</td> <td>65.0</td> <td>63.8</td> <td>◎</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H22	H29	H29	◎	56.0	65.0	63.8	◎	<p>① 総合的な住みやすさの満足度 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>H29</td> <td>H29</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>56.0</td> <td>65.0</td> <td>63.8</td> <td>◎</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H22	H29	H29	◎	56.0	65.0	63.8	◎	<p>・概ね2年に1回、市民満足度調査を行い、市民ニーズの把握と総合計画で設定した「4年後のまち」の実感度を把握している。</p>	<p>・市民ニーズや地域課題が多様化・複雑化していく中で、市民ニーズを把握すること。</p> <p>・人口減少や少子高齢化、生産年齢人口の減少といった人口構造の変化に伴う、財政難の状況の中での、限りある行政経営資源を有効活用すること。</p> <p>・社会経済構造が急速に変化する中で、統計データなどを積極的に活用し、政策目的を明確にし、証拠に基づく政策立案（EBPM）を実施すること。</p>
				実績		目指す値	達成状況																								
H22	H29	H29	◎																												
56.0	65.0	63.8	◎																												
実績		目指す値	達成状況																												
H22	H29	H29	◎																												
56.0	65.0	63.8	◎																												
<p>② 総合計画の進行管理が適切に行われ、計画の目標が達成されている。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>64.3</td> <td>56.9</td> <td>75</td> <td>×</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H26	H29	H30	×	64.3	56.9	75	×	<p>② 総合計画の進行管理のために設定した「指標」の達成割合 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>64.3</td> <td>56.9</td> <td>75</td> <td>×</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H26	H29	H30	×	64.3	56.9	75	×	<p>・総合計画の進行管理は、毎年度、総合計画審議会条例に基づき、総合計画審議会に諮問・答申を得て検証報告書を作成している。</p> <p>・前期基本計画に設定した指標を後期基本計画では大幅に見直し、より進行管理がしやすい計画となっている。</p> <p>・当初設定した指標では管理しにくいものが出てきた場合、補助指標を設定する等、柔軟な運営を行っている。</p> <p>・計画における指標の設定は、各分野別計画に浸透しつつあり、進行管理についても同様。</p>	<p>・分野別計画の進行管理が一定浸透してきている中で、担当課にとつての重複感を解消すること。</p> <p>・総合計画の進行管理を、予算や人員、組織等の最適化と連動させ、無駄のない効率的かつ効果的な行政マネジメントシステムを構築すること。</p>				
実績		目指す値	達成状況																												
H26	H29	H30	×																												
64.3	56.9	75	×																												
実績		目指す値	達成状況																												
H26	H29	H30	×																												
64.3	56.9	75	×																												
第5次生駒市総合計画後期基本計画	142 行政サービス	<p>質の高い市民サービスの効率的・効果的な提供は、行政にとつての責務であり、本市においては、市民にとって利便性の高いコンビニ交付を導入し、住民票の写しや印鑑登録証明書などの発行を行っています。さらに、インターネットを利用した施設予約や各種申請などの受付も行っています。また、平成24年7月から市内6カ所の生涯学習施設について、サービスとコストの両面から効率的・効果的な運営を検討し、民間企業による指定管理を実施しており、今後はその効果をモニタリングし、安定的かつ効果的な施設管理運営を目指します。</p>	<p>今後も市民ニーズを把握し、費用対効果を検討しながら、市民にとって利便性の高いサービスを提供するため、施設の開館時間の見直しや近隣市町との連携などを行う必要がります。</p>	<p>① サービスの向上がより一層図られ、親切、丁寧で、質が高く、市民の目線に立ったサービスが提供されている。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>23</td> <td>30</td> <td>×</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H23	H29	H30	×	7	23	30	×	<p>① コンビニ交付等での利用率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>23</td> <td>30</td> <td>×</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H23	H29	H30	×	7	23	30	×	<p>・マイナンバーカードの普及を促進したこと、コンビニ等で各種証明書を取得する市民が増えた。</p>	<p>・マイナンバーカードの更なる普及のための啓発</p>
				実績		目指す値	達成状況																								
				H23	H29	H30	×																								
7	23	30	×																												
実績		目指す値	達成状況																												
H23	H29	H30	×																												
7	23	30	×																												
<p>② 質の高い公共施設の管理運営が、安定的に行われている。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>◎</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H25	H29	H30	◎	0	100	100	◎	<p>② 指定管理者のモニタリング実施率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>◎</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H25	H29	H30	◎	0	100	100	◎	<p>・新たに指定管理者制度導入した施設も含めて、H26年度にモニタリング開始以降、毎年度全施設でモニタリングを実施した。毎年実施するものとして施設所管課と指定管理者に定着している。</p>	<p>・高度経済成長期に大量かつ集中的に整備されたインフラ施設や公共施設が、今後一斉に更新時期を迎える中で、施設を維持管理していくこと。</p>				
実績		目指す値	達成状況																												
H25	H29	H30	◎																												
0	100	100	◎																												
実績		目指す値	達成状況																												
H25	H29	H30	◎																												
0	100	100	◎																												
<p>③ 市民の情報通信技術を活用した行政サービスの利用が広がっている。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>3.8</td> <td>11.1</td> <td>15</td> <td>×</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H21	H29	H30	×	3.8	11.1	15	×	<p>③ 電子申請等オンラインサービスの利用率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>3.8</td> <td>11.1</td> <td>15</td> <td>×</td> </tr> </table>	実績		目指す値	達成状況	H21	H29	H30	×	3.8	11.1	15	×						
実績		目指す値	達成状況																												
H21	H29	H30	×																												
3.8	11.1	15	×																												
実績		目指す値	達成状況																												
H21	H29	H30	×																												
3.8	11.1	15	×																												

2. 第6次総合計画（原案骨子）

第6次総合計画（原案）					
現状と今後5年間の展望	今後5年間の主な課題	5年後のまち（2024年3月末）	指標（複数候補）	行政の5年間の主な取組	具体的な事業
<p>① 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ニーズや地域課題が多様化・複雑化している。</li> <li>・人口減少や少子高齢化、生産年齢人口の減少といった人口構造の変化に伴う、税収減や社会保障費の増加により厳しい財政状況が続くことが見込まれる。</li> </ul> <p>① 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの普及など高度情報化社会の進展により、個人のライフスタイルや価値観の多様化など個人の行動変容が進んでいる。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度経済成長期に大量かつ集中的に整備された住宅及び商業施設、道路・上下水道などのインフラ施設や公共施設が、今後一斉に更新の時期を迎える。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会経済構造が急速に変化している中、限られた資源を有効に活用し、信頼されるまちづくりを展開することが求められている。</li> </ul>	<p>① 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予算や行政組織、人材など限りある経営資源を最適に配分するとともに、有効かつ効率的に活用し、効果的な行政経営を行うこと。</li> </ul> <p>① 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の行動変容に即した施策への転換。</li> <li>・個人の行動変容による生活構造の変化だけでなく、概ね20年先を展望したとき、社会や都市構造において生じる変化にも対応するため、行政サービスやまちづくりのあり方について、方向性の斬新的転換と、分野横断的な施策展開が求められており、将来的な課題として施策の重点化を図り、戦略的に取り組んでいく必要がある。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間建築物と市有施設ともに老朽化施設の対策経費の増大や重大な事故などのリスクも高まること予想され、人口減少・少子高齢化を迎える中での維持管理。</li> </ul> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験・勘・思い込み（KKO）ではなく、統計など客観的なデータを積極的に利用して、政策目的を明確化し、証拠に基づく政策立案（EBPM）が求められている。</li> </ul>	<p>①総合計画と財政、組織が連動する仕組みが確立し、経営資源が最適かつ効果的に配分され、持続可能な行政経営が行われている。</p>	<p>①総合的な住みやすさの満足度（秘書企画課）</p>	<p>① 1 分野横断的な課題や地域特性に応じた課題に対応するための仕組みを、行政経営のPDCAサイクルに埋め込みます。（秘書企画課）</p> <p>① 2 総合計画の進行管理を適切に実施するとともに、施策評価の結果をもとに、予算や人員、組織等の経営資源の最適かつ効果的な配分を行います。（秘書企画課）</p> <p>① 3 分野別計画の進行管理の定着を図り、各所属における主体的なPDCAサイクルマネジメントの運用を進めます。（秘書企画課）</p> <p>① 4 事務事業の必要性や成果などを明確にし、民間委託も考慮しながら、恒常的に整理・合理化を図るとともに、行政改革大綱に基づいた行政改革を推進します。（財政経営課）</p> <p>① 5 行政改革の推進等により、経常経費の見直しを行い、費用対効果の薄い事業のスリム化や見直しを行います。（財政経営課）</p>	<p>① 1 重点戦略の進行管理（秘書企画課） まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・進行管理（秘書企画課） 新規・主要事業等ヒアリングの実施（秘書企画課）</p> <p>① 2 行政マネジメントシステムの構築（秘書企画課）</p> <p>① 3 分野別計画の進行管理の促進（秘書企画課）</p> <p>① 4 行政改革大綱・行動計画の推進（財政経営課）</p> <p>① 5 行政改革大綱・行動計画と予算査定の連動（財政経営課）</p>
		<p>②人口減少に伴う市民ニーズの変化に合わせて、公共施設等の適正配置が進められている。</p>	<p>②公共施設の1年あたりの更新費用（財政経営課）</p>	<p>② 1 今後進行する人口減少や人口構造の変化を見据え、将来の市全体の施策の利用状況などをもとに、公共施設の適正な配置方針や計画的な改修の時期などを決定します。（財政経営課）</p> <p>② 2 各施設の状況を把握して施設を有効活用します。（財政経営課・各施設管理課）</p> <p>② 3 今後も活用していく公共施設等について、長寿命化を進めます。（営繕課・各施設管理課）</p> <p>② 4 既存のインフラ施設を、継続的に保全・更新していきます。（財政経営課・各施設管理課）</p> <p>② 5 民間企業等の持つノウハウや資金を導入することで、公共施設等の整備・管理の財政負担の軽減とサービス水準の向上を図ります。（財政経営課）</p>	<p>② 1 ファシリティマネジメントの推進（財政経営課）</p> <p>② 2 公共施設等総合管理計画の見直し（財政経営課） 公共施設マネジメント推進計画の策定（財政経営課）</p> <p>② 3 公共施設保全計画の推進（営繕課） 個別施設計画の策定（各施設管理課）</p> <p>② 4 インフラ施設の長寿命化計画の策定（財政経営課）</p> <p>② 5 PPPの推進（財政経営課）</p>
		<p>③客観的なエビデンスに基づく政策づくりが進んでいる。</p>	<p>③実証的研究による効果計測の実施件数（秘書企画課）</p>	<p>③ 1 統計など客観的なデータを積極的に利用して、施策、事業の政策目的を明確にし、エビデンスに基づく施策づくりと事業立案を進めます。（秘書企画課）</p> <p>③ 2 市民や利用者のニーズを把握し、ニーズに即した行政サービスを提供するため、定期的に満足度調査を実施します。（秘書企画課）</p> <p>③ 3 法改正や技術開発、先駆的な自治体のチャレンジについての情報、データを収集・共有し、学習します。（秘書企画課）</p> <p>③ 4 各行政サービスについて、各種データを取り、継続的なサービスの改善につなげます。（秘書企画課）</p>	<p>③ 1 EBPMを推進するための組織の構築（秘書企画課） ランダム化比較実験（RCT）等の実証的研究による効果計測の実施（秘書企画課）</p> <p>③ 2 市民満足度調査の実施（秘書企画課）</p> <p>③ 3 先進自治体の事例調査（秘書企画課）</p> <p>③ 4 行政サービスに関するデータのベンチマーキング（秘書企画課）</p>

3. 庁内連携、市民等との協創のアイデア等

5年後のまち (2024年3月末)	課題解決のために 必要な庁内連携	課題解決のために必要な市民・事業者に 果たしてもらいたい役割	課題解決のために取り組みたい「協創」のアイデア			
			市民と	地域と	事業者・NPO等と	他の行政機関等と
①総合計画と財政、組織が連動する仕組みが確立し、経営資源が最適かつ効果的に配分され、持続可能な行政経営が行われている。		<p>[市民]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の内容を知り、総合計画の5年後のまちが実現できるよう市民の役割を実践する。</li> </ul> <p>[事業者]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の内容を知り、総合計画の5年後のまちが実現できるよう市民の役割を実践する。</li> </ul>				
②人口減少に伴う市民ニーズの変化に合わせて、公共施設等の適正配置が進められている。		<p>[市民]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設等の更新費用に係る将来負担について関心を持ち、ファシリティマネジメントについて理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の長寿命化や適正配置を実現するため、更新費用等の将来負担について共に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の長寿命化や適正配置を実現するため、更新費用等の将来負担について共に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の長寿命化や適正配置を実現するため、施設の有効利用に対する提案や協力を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設を有効利用するため、近隣自治体と相互利用について検討する。</li> </ul>
③客観的なエビデンスに基づく政策づくりが進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題を分析するため、いこまの魅力創造課、総務課と、ビッグデータの利用促進に向けた取組を行い、政策立案につなげる。</li> <li>EBPMを推進するため、関係課とプロジェクトチームを編成するなど、取組を推進するための組織を形成する。</li> </ul>	<p>[市民]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市が実施するアンケート調査等に協力し、意見を伝える。</li> <li>ランダム化比較実験(RCT)を用いたフィールド実験に協力する。</li> </ul> <p>[事業者]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市が実施するアンケート調査等に協力し、意見を伝える。</li> <li>ランダム化比較実験(RCT)を用いたフィールド実験に協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題を解決するため、客観的なデータを利用して、解決を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題を解決するため、客観的なデータを利用して、解決を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の事業をより効率的に実施するため、事業者とともに実施できるものを抽出し、実施する。</li> <li>地域課題を解決するため、事業者と民間の視点を活かした解決手法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題を解決するため、他の自治体とEBPMの先駆的な取組について情報共有する。</li> <li>地域課題を解決するため、他の自治体と先駆的な行政サービスについて情報共有する。</li> </ul>